

雷による被害

日本の夏の風物詩?そして、冬の季節は日本海の冬季雷と日本は世界でも有数の雷の発生地域です。国際電気標準のIEC規格では、直撃雷の電流値をさまざまな経験から200kAと規定していますが、日本の北陸地方では300kAの雷電流を観測したこともあるそうです。最近では、気象庁のスーパーコンピュータですらも天気を予測できなくなってきていると聞いており、これはスーパーコンピュータの性能が劣っているのではなく、気象のメカニズムそのものが異常になってきている証拠であるとの見解があるそうです。

今後、ますます発生が予想される(?)雷による被害例を以下に述べていきます。



落雷の影響範囲

落雷による影響範囲をご存知ですか?落雷地点を中心に半径2kmに影響が及ぶと言われています。時間になると雷鳴から6秒以内が2kmの範囲になります。

実際の被害例



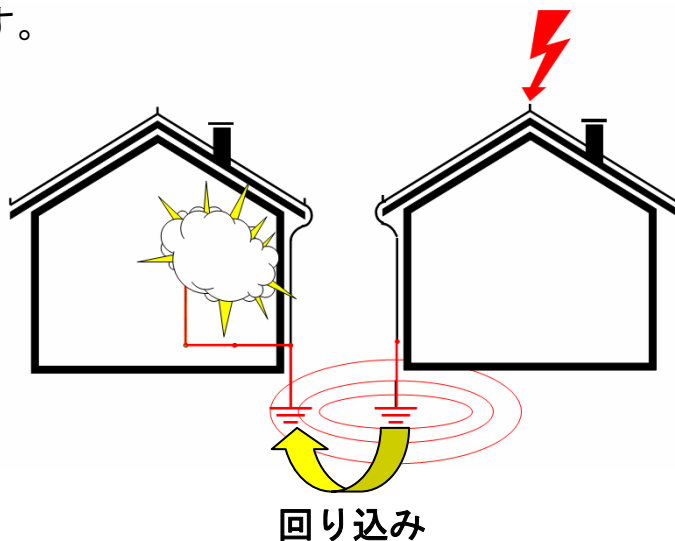
- ① 誘導雷によるチップの破壊



- ② 風車のナセルおよびローターブレード部に直撃雷を受けて炎上、破壊

最近の雷被害でよく聞く話...

日本のような狭い場所に集合住宅やビルが集中している場所では、直接、落雷を受けていなくても隣の建物からの雷電流の『回り込み』による被害も報告されています。



回り込み

報告例：

A社工場敷地内に落雷した雷電流が隣接する他社工場に回り込み、設備を破壊。

雷から大事な機器を守るには？

このような雷被害から大事な機器を守るには、避雷器が効果を発揮します！



FLT-CP-PLUSシリーズ（低圧電源用避雷器）

100kAの直撃雷から機器を保護する。
新JIS規格クラス I 避雷器

PT...シリーズ（xDSL対応避雷器）

誘導雷10kAまで対応。直撃雷にも最大2.5kAまで対応。

フェニックス・コンタクト株式会社は、9月18日から金沢市で開催される『雷保護国際会議(ICLP)』に参加、出展致します。

フェニックス・コンタクト株式会社

横浜市港北区新横浜1-7-9 友泉新横浜1丁目ビル6階

本社・営業部 Tel. (045) 471 0030 Fax. (045) 471 0031

大阪営業所 Tel. (06) 6838 3133 Fax (06) 6838 3533

名古屋営業所 Tel. (052) 918 7211 Fax. (052) 918 7222

大宮営業所 Tel. (048) 631 3371 Fax. (048) 648 8651

福岡営業所 Tel. (092) 418 2030 Fax. (092) 476 8643

商品のお問い合わせは